

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/03/27号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

円建てゴールド市場最高値8458円へ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



前回のレポートで前週のゴールドは2000ドルを超える可能性があるとして書きました。まさにその通りに。円建てゴールドはふたたび歴史的な高値を更新。月曜日につけた8458円が円建てゴールドの歴史的な高値となりました。FOMCは市場予想通りの0.25%の利上げとなりましたが、パウエル議長の会見では、前回とはその内容が大きく変化。前回まではhigher and longerとし、まだまだ金利を上げるというタカ派の姿勢でしたが、銀行破綻という事態を経た今回は、この利上げと次回5月に0.25%がほぼ最後になるという印象を与え、ゴールドを2000ドルを超えるまで上昇させる原動力となりました。前週は2000ドルを超える場面が3回ありました。さすがに2000ドルを超えたレベルでは利食いの売りも多く、週末金曜日にも2000ドルを超えましたが、PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を上回るよい数字が出たこと、加えてセントルイス連銀のブラード総裁が、銀行不安が一服すればFRBは金利を上げなければならない、と発言、それによりゴールドは反落、一週間の終わりは1977ドルとなりました。先々週の急激な上昇もあり、2000ドルという大台では利食いが出やすい状態であることは確か。ただし、そのレベルがいつまでも抵抗線になるとは思いません。銀行の経営不安がまだ完全に解決されてわけではなく、イエレン財務長官はすべての銀行を助けるわけではないと明言しており、米国の地銀からの預金引き出しは続いています。パウエル議長の会見では破綻した3行に加えて、少なくともまだほかの6行が援助を必要としていると述べ、この危機は2008年の金融危機以来の様相を呈しています。ここまで300億ドル規模の救済資金が米政府から支出されており、銀行不安が広がらないように政府は早め早めの対策に走っていますが、果たしてそれで解決できるかと言われると大きな疑問符がつきます。これは安全資産であるゴールドにとっては大きな上昇要因であり、ゴールドは今後も利食い売りを吸収しながら上昇していくことを予想します。

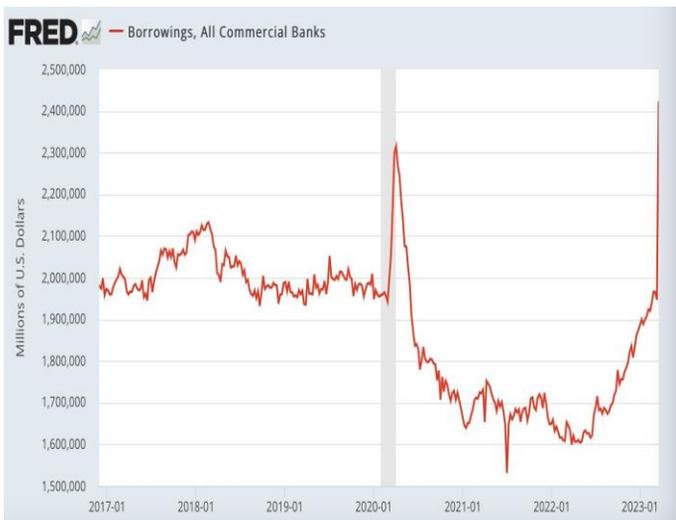
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「続く米国地銀からの預金流出」

FRBの報告によれば、全米の商業銀行のFRBからの借り入れは先週だけで4750億ドルに上っているということです。そしてSVB破綻からの二週間での預金の引き出しは5000億ドルになりました。JP Morganによれば、FRBが金利の引き上げを始めた2年前からは、もっとも危ないとされた銀行群からの預金引き出しは1兆ドルに達したとされ、その半分にあたる5000億ドルがこの二週間に引き出されたということになります。これは歴史的にみても前代未聞のレベルです。先週一週間での動きは銀行からの流出は合計すると1000億ドル。その内訳は大手銀行は流入670億ドル。中小銀行は1200億ドルの流出。外資系銀行は450億ドルの流出ということ。そして破綻したSVBは大手銀行に分類されるということですが、それでも大手銀行全体では資金が中小銀行から流入という形になっているところが注目点です。中小銀行（地銀）の苦しみは増し、大手銀行は逆にそれが利益となっている図式です。全体での流出となっている部分の残りの半分はMMFなど国債に投資する信用度の高いものに流れています。WSJによると200を超える地銀がSVBと同じ問題に直面しているとされています。米国の銀行不安はまだまだこれからの時限爆弾を抱えていると言えます。

(全米民間銀行の借り入れ額の変化)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することによるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

